

令和4年度 第2回 学校運営協議会 議事録

○10月24日(月) 15:00~16:30 場所: 校長室

出席者 協議委員: 山下 寺田 瀧見 廣野

事務局: 浅田 高田 溝端 藤岡峻 嶋田

次 第

1 校長挨拶

- 例年、第2回当委員会は年度の中間に行われるということでみなさまにお示しできる指標となるような数値は未算出である。したがって、本日は授業を見学していただき、その様子で感じたことなど忌憚なくご意見いただき、さらなる授業改善に努めたい。
- 授業が70分あり、その構成の一部を見学させてもらったので一概には言えないと思うが、教師から生徒への一方通行な授業もあり、生徒が質問しにくいような雰囲気も感じられた。「分かっているよな」は信頼を表すとともに、質問するなよという雰囲気も生み出すことに留意してほしい。

2 協議事項

(1) 本年度の学校経営計画(重点目標)の進捗状況について

- さきほど、申し上げたように数値はまだ未算出であるが、現時点で時間外労働の時間が増加している傾向がある。また、生徒の遅刻数も昨年度より増加している。

(2) スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の進捗状況について

- 授業で見ていただいたように生徒はまだまだ質問することに消極的な姿勢であり、このことは探究ⅡSSHの発表会でも顕著であるので、改善したいと強く考えている。
- 授業でも見られたようにペアワークとして生徒同士で疑問に思ったことを共有して、そこから生徒から教師に質問するなど、質問しやすい雰囲気づくりが大切であると思う。
- 3年生の探究Ⅲの選択人数についても増加させたいが、受験勉強と探究活動のバランスが難しい。SSHの取組みとして計画実現できることを着実に進めていきたい。

(3) 第1回授業評価の結果について

- 例年と大きな変化はないが、本校の授業評価は他校と比べて高い。授業については、各教員で工夫が見られ、毎年同じ授業では、生徒たちは満足しない。日々改善が必要である。
- 本日短い時間ではあるが見学した授業の中でも生徒にロールプレイ的に実際に身体をつかって実感させることで、体験記憶として内容を定着させるなどの工夫が見られて楽しかった。

(4) スクールミッションについて

- 大きな枠組としてのミッションは設置者である教育庁が指定しているグローバルリーダーズハイスクールとしての位置づけであるから、まずは進学実績を上げることが最大のミッションであると考えている。そのためには、どのような取組みでどのように生徒を育てるかという観点と、スーパーサイエンスハイスクールとしてのミッションをどのようにスクールミッションに落とし込むかという観点を合わせて、原案を作成した。ご一読いただき、ご意見をいただきたい。

→ 本日欠席の委員の方もいらっしゃるので、後ほどでも全員に見ていただき、最終案を作成してほしい。この場では時間も限られるので、集まったご意見をもとに修正していただき、学校運営協議会として承認したいと思う。

(5) その他

- 事務長より 施設・設備の整備状況
- 空調設備の進捗状況、プロジェクター、スクリーンといった教室設備状況などを報告した。

3 事務連絡

次回予定 → 後日日程調整

(資料)

- 1 学校経営計画
- 2 SSH事業の進捗状況について
- 3 第1回授業評価の結果
- 4 スクールミッション(案)
- 5 施設・設備の整備状況